



第19回キッズデザイン賞

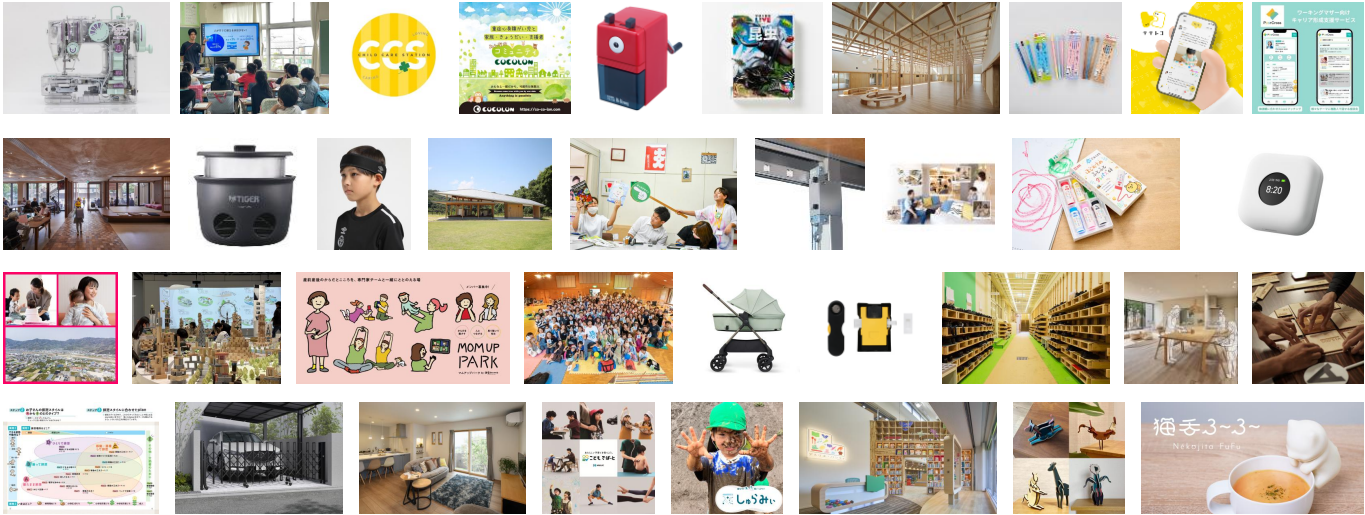
最優秀賞「内閣総理大臣賞」など各賞を発表！

キッズデザイン協議会※1は、子どもの安全・安心と健やかな成長発達に役立つ優れた製品・サービス・空間・活動・研究などを顕彰する「キッズデザイン賞」の第19回優秀作品にノミネートされた36作品の中から、最優秀賞、優秀賞、奨励賞、特別賞を発表しました。

優秀作品に選ばれた36点は、子どもたちにとって安全であることはもちろん、「子どもたち自らが考え、行動する機会を創出する」「現代社会ならではのデリケートな課題への対応」などの観点で優れた作品となっております。

これら作品の受賞を機に、子どもの未来が持続的で明るいものになるよう、広く社会に広がることを期待しております。

※1 キッズデザイン協議会 東京都港区虎ノ門 会長：坂井 和則（TOPPANホールディングス株式会社 取締役 副社長執行役員 CHRO / TOPPAN株式会社 取締役）



【第19回キッズデザイン賞 表彰式・シンポジウム】

事前に登録いただいた受賞者様・報道関係者様のみご入場いただけます

日時：2025年10月6日（月） 表彰式 10：00-12：00 / シンポジウム 13：30-15：00

シンポジウム「キッズデザイン 開発ストーリー2025」

■第1部 13:30【最優秀賞】

『ここほれワンワン！デザインがザクザク！キッズプロジェクト』んまっポーズ

■第2部 13:50【優秀賞】

～子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン～

『BoTトーク（シリーズ第5世代）』ビーサイズ株式会社

『伸縮ゲートレイオス』YKK AP株式会社

■第3部 14:05【優秀賞】

～子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン～

『レイモンド斑鳩こども園』株式会社キノアーキテツ

『深川えんみち』JAMZA

『アトリエ・パンライ-ITABASHI-』株式会社三井住友フィナンシャルグループ

■第4部 14:25【優秀賞】

～子どもたちを産み育てやすいデザイン～

『子どもの発達特性でつながるSNS「テトコ」』株式会社ZIZO

『「地域のお産の灯を絶やさない」ファミール産院ありだ誕生とその後の物語』

積水ハウス株式会社

『PeerCross』東日本旅客鉄道株式会社

■総評 14:50

※お時間は前後する可能性があります。予めご了承ください。

最優秀賞（内閣総理大臣賞）



ここほれワンワン！デザインがザクザク！キッズプロジェクト

んまつーポス / 宮崎市産業政策課 / 国際こども・せいねん劇場みやざき
【宮崎県】

大人が子どもの活動をサポートするという立場で、子ども主体で街づくり、企業体験を推進する活動であり、子ども目線で気づいたこと・見つけ出したことを地域に伝える仕掛けを持つ点は重要である。ここでは大人は伴走者であり、主体は子どもにある。

今後のキッズデザインの重要な視座と考える「子どもの社会参画」の好事例であり、最優秀賞にふさわしい作品として評価した。

優秀賞（経済産業大臣賞）

子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門

子ども部門



『BoTトーク（シリーズ第5世代）』

ビーサイズ株式会社

【神奈川県】

子どもの登下校の際の安全を見守るためのGPSサービスとして実績のある製品が進化したものである。時計機能やバッテリー残量表示、画面OFF機能は子どもの活動の細部にわたるニーズを汲んでおり、利便性が高い。AI活用により普段と異なる場所へ行った際は通知が届くなど、安全確保に特化したプロダクトとして高く評価した。

一般部門



『伸縮ゲートレイオス』

YKK AP株式会社

【東京都】

外構をオープンにする分譲地設計が人気になる中、道路への飛び出しなどの事故防止にも配慮が求められている。本作品は門扉としての安全性を確保しながら、ハンドル部や脚部の形状の工夫、丸みのあるタテ格子など折りたたんだ際の安全性と、よじ登りや指はさみなどの事故防止にも配慮がある点で、高く評価した。

子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門

クリエイティブ部門



『レイモンド斑鳩こども園』

株式会社キノアーキテツ / 社会福祉法人檸檬会

【奈良県】

周囲の環境と相まって季節の移り変わりや自然との触れ合いを促す空間づくりが機能的かつ美しい。特に地元産材の列柱を配したホールの空間的存在感の特筆に値する。外の回廊は縁側のようにあり、子どもが歩き回り自由に遊ぶ装置になっている点も秀逸であり、子どもの記憶に深く刻まれるデザインとして高く評価した。

リテラシー部門



『深川えんみち』

社会福祉法人聖救主福祉会 / 特定非営利活動法人地域で育つ元気な子 / JAMZA

【東京都】

学童の子どもはデイサービスの真ん中を通り抜けて2階へ上がるなど、高齢者と子どもの活動パターンを踏まえ、交流が自然に生まれるような丁寧な動線計画が読み取れる。

私設図書館は地域住民がオーナーとなり、誰でも借りられる仕組みだ。開設1年で多様な交流の様子が見られ、今後も地域の交流拠点として活発化していくことが期待できる。

第19回キッズデザイン賞 優秀作品一覧

優秀賞（消費者担当大臣賞）

子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門

消費者育成部門



『アトリエ・バンライ-ITABASHI-』
株式会社三井住友フィナンシャルグループ
【東京都】

食品会社と組んだトマトの苗植えから野菜摂取に至るまでの生産～消費の仕組みや、金融機関ならではの体験型の金融経済教育プログラムなど、健全な消費者育成に寄与する内容を実施しており本賞にふさわしいと判断した。
オープン2ヶ月で1日30～40人、プログラム実施日は60人の来訪がある点もこうしたニーズの受け皿として地域に貢献していることがわかる。

優秀賞（こども政策担当大臣賞）

子どもたちを産み育てやすいデザイン部門

個人・家庭部門



『子どもの発達特性でつながるSNS「テトコ」』
株式会社ZIZO
【大阪府】

子どもの発達特性は個性があり範囲は幅広い。SNS活用という参加のしやすさに加え、自己紹介カードを作成して発達特性の近い子どもを見つけ、保護者同士の交流を促す仕組みもある。
体験談やコラム、各種データなど必要に応じたコンテンツに出逢える点も優しい。

優秀賞（こども政策担当大臣賞）

子どもたちを産み育てやすいデザイン部門

地域・社会部門



『「地域のお産の灯を絶やさない」ファミリー産院ありだ誕生とその後の物語』

積水ハウス株式会社 / 医療法人マザー・キーファミリー産院グループ / 有田市 / 鴻池ビルテクノ株式会社 / 近畿大学アカデミックシアター
【大阪府】

20～39歳の女性が2050年までに半減する地域、消滅可能性自治体と呼ばれる自治体は全国の4割といわれている。本作品の取組を通じて開院後152名が生まれ、産院では看護師、助産師など28名の雇用にも貢献している点は素晴らしい。
少子化問題に対して真摯な実践は地域の活性化につながる枠組みとして高く評価した。

優秀賞（男女共同参画担当大臣賞）

子どもたちを産み育てやすいデザイン部門

男女共同参画部門



『PeerCross』
東日本旅客鉄道株式会社
【東京都】

仕事と出産の両立を支援するキャリアへのモチベーションアップに焦点を当てた優れた取組であり、本賞にふさわしい。利害関係のない立場から相談できる仕組みで、参加のハードルを下げ、徐々にキャリアについての相談に進むことができる。
すでに38社、5,500組のマッチングが成立しているという実績も素晴らしい。

奨励賞（キッズデザイン協議会会長賞）

子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門

子ども部門



『障がいのあるお子さんのこころと体に合った排泄スタイル ～住まいのくふう～』

日本大学理工学部まちづくり工学科

【東京都】

5年以上の時間を掛けて、調査・分析、アセスメントツールの開発、ワークショップ等の開催などしっかりと調査を活かして実践に繋げた好例である。非常に重要なテーマにフォーカスしており、価値のある社会的コミュニケーションであることは本賞に値する。

子ども部門



『プロテクトヘッドバンド』

デサントジャパン株式会社

【東京都】

国際的なサッカーの世界のルールでもプレー中の脳震とう対策やその後の練習プログラムが定められている。海外では子どものヘディング禁止の傾向も顕著であり、人気スポーツであるがゆえの子どもの安全性確保の点で有効な提案であり、課題の社会発信の面でも効果的だ。

子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門

一般部門



『ウチリモ 内窓』

YKK AP株式会社

【東京都】

引手に手を入ると飛び出るストッパーが特徴であり、特に子どもの小さな指を挟み込む事故の防止には有効と考える。デザインの工夫により、窓枠の奥行き延長部材なしで後付けが可能であり、見た目もすっきりしている。掃除のしやすさも衛生面で効果的だ。

一般部門



『後付け自動窓ロック「わんぱくロック」』

サンユウテック株式会社

【茨城県】

転落事故防止のためには子どもを単独でベランダに出さない工夫が必要である。後付けで、自動でロックされる本作品は事故防止の面で多くの家庭で有効である点を評価した。換気を考慮して、窓を少し開けた状態でもロックできる点も使い手への配慮が見て取れる。

子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門

クリエイティブ部門



『水でおとせるはじめてのふとふとクレパス6色』

株式会社サクラクレパス

【大阪府】

三点持ちを習得するまでは、ぐっと握って押し付けるように描くことが多い。握りやすく、折れにくい筆記具はそんな時期にうってつけだろう。発色もよく、水で落とせる点も家庭での利用に有効だ。みつろうを原材料に使用しており、安全面にも配慮がある。

クリエイティブ部門



『木製パレットを活用した循環する靴箱』

学校法人新渡戸文化学園 新渡戸文化小学校 / 株式会社SATO COMPANY

【東京都】

絵を書いたり作り直したりといった行為を通じて、靴箱を子どもが自分のものとして認識し、学年が上がるごとに場所を移すことで自らの成長も実感する。上級生から下級生へ活動を伝え、学校の伝統や文化も継承されるというプログラムのデザインが特に光る。

第19回キッズデザイン賞 優秀作品一覧

奨励賞（キッズデザイン協議会会長賞） 子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門

リテラシー部門



『学研の図鑑LIVE新版シリーズ』

株式会社Gakken

【東京都】

昆虫は2,800種に及ぶ種類を生きている姿で撮り下ろすなど、本物を伝えるためのページの迫力が圧巻である。興味を持ったコンテンツは動画コンテンツでさらに深掘りができ、探究学習にも寄与するものだ。ページの角は丸く加工しており、安全性も確保している。

リテラシー部門



『電気がなくても炊きたてごはん「魔法のかまどごはん」』

タイガー魔法瓶株式会社

【大阪府】

新聞紙朝刊相当の枚数を2つの穴に交互に入れて燃やすとご飯が炊けるという発想を高く評価した。キャンプ用品としても、非常時の炊飯グッズとしても利用できる。身近な素材で自分の手でご飯を炊くという行為を通じてエネルギーについて再認識を促す良作である。

子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門

消費者育成部門



『セーザイゲーム』

株式会社nojimoku / 熊野林星会

【三重県】

林業を個別解ではなく、全体像から捉えることができる疑似体験ゲームとして高く評価した。目利きや木取りで木材の価値が変わることを理解することで、日常における木材の見方、林業の捉え方も変わっていくだろう。キットの素材、デザインも洗練されている。

消費者育成部門



『SENSEI よのなか学』

株式会社ARROWS

【東京都】

学習指導要領の改訂により先生が教える領域が拡大し、持続可能性・循環型社会・消費生活などのテーマも加わった。こうしたテーマでは企業との連携は有効であり、企業の持つ資源を社会を学び知識を実装するための教材として活用している点が素晴らしい。

子どもたちを産み育てやすいデザイン部門

個人・家庭部門



『こどもでばーと』

ヒューリック株式会社 / 株式会社リソー教育 / コナミスポーツ株式会社

【東京都】

子どもクリニックや塾、運動教室、学童など子どもに関わる施設をひとつのビルに集約する試みであり、新規性がある。コンシェルジュや送迎など使い勝手の良さもある。都市部の子育て支援機能を集約化して、共働き世帯をサポートして街の魅力そのものを高める取組である。

個人・家庭部門



『MOM UP PARK』

筑波大学 / つくばウエルネスリサーチ

【千葉県】

妊娠期の疲労感や腰痛といった、いわゆる不定愁訴は産後も7割超の母親が抱える問題である。身体から心の健康を促す点、同じ経験をしている人が集える点は重要である。プログラム参加者は心と体に顕著な改善結果が見られ、今後データの幅広い活用も期待できる。

奨励賞（キッズデザイン協議会会長賞）

子どもたちを産み育てやすいデザイン部門

地域・社会部門



『トーキョーコーヒー』

株式会社たのしいのちがけ

【奈良県】

大人自身が楽しむこと、子どものやりたい気持ちを後押しすることの二軸から、教育の在り方を模索する社会提案性の高い取組だ。農業、モノづくり、ダンスなどテーマは自由で、大人のマインドチェンジを通じて、子どもを取り巻く環境を変えたいという意思が伝わる。

地域・社会部門



『COCOLON〔重症心身障がい児と家族・きょうだい・支援者みんなのコミュニティ〕』

特定非営利活動法人EPO

【東京都】

2024年度だけを見ても34回のイベントやセミナーの開催、約1,000名の参加という実績から、社会的ニーズが高い領域であることは間違いないだろう。外出を積極的に促すイベントも実施しており、重度心身障がい子どもと親の積極的な社会参加を後押ししている。

子どもたちを産み育てやすいデザイン部門

男女共同参画部門



『しゅらみい』

株式会社プレーバル館

【東京都】

保育者、保護者にとっての衣服洗濯の手間を軽減するレンタルサービスであるだけでなく、子どもたちが服を着替えることで外遊びのスイッチが入る効果をもたらす。汚れの程度によって分別するなど、回収の仕組みもきちんとできており、システムも効率的である。

男女共同参画部門



『チャイルドケアステーション』

ANAホールディングス株式会社 未来創造室

【東京都】

子育て経験のある社員やシニア社員がサポーターとして登録、保育講習を受けたうえで他の社員の子どもを預かるシステムとなっており安心だ。仕事の内容や勤務形態などを熟知しており、顔の見える関係の中で利用できるサービスなので多くの企業に広がって欲しい。

第19回キッズデザイン賞 優秀作品一覧

特別賞（審査委員長特別賞）

子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門



『鉛筆削り ハイストロング』

カール事務器株式会社

【東京都】

文具としての基本的な機能を追究すると、このようなデザインにたどり着くことを証明するような作品である。毎日使うアイテムであり、安全性や操作性を重視した機能美こそスタンダードになり得るのだらう。これからも長く愛される文具として活躍して欲しい。

子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門



『スクーリングハウジング』

株式会社クレバリーホーム

【千葉県】

自然災害対策、耐候・防犯対策等、住宅に求められる予防学的な機能はもちろんのこと、子育て家庭のウェルビーイング向上のための農体験、地域とのコミュニケーションなど多様なプログラムを導入。ショールームをスクール化した啓発の仕組みを高く評価した。

子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門



『臼杵市総合公園子ども広場こどもトイレ』

株式会社翔設計室一級建築士事務所

【大分県】

木造平屋建ての開放感のあるトイレで、公園内からの視認性が高くとり着きやすい。公園設置のトイレには珍しく子ども専用サイズのトイレを設けている。多目的トイレ内には汚れを落とすベーパーバススペースもあるなど、徹底した子育て目線での設計が光る。

子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門



『たてものめがね まちめがね展-宇宙から虫まで、縮尺で考える建築の見方-』

株式会社竹中工務店

【大阪府】

宇宙から虫という表現に象徴されるように、スケールは単に拡大縮小すればよいわけではなく、ミクロの世界、巨大な世界には各々力学が存在する。こうした視点に気づきを与える「メガネ」を提供した良質な展示であり、今後の学びに大きな可能性を感じさせる。

子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門



『リンネ リビング トイ』

株式会社マザーハウス

【東京都】

回収された自社のバッグや生産時に出るレザーの端材を使って、動物をモチーフとした立体パズルを生み出した。デザインは洗練されインテリアとしても良い。

回収時にはポイントが発行され、海外の公衆衛生に寄付されたり、バッグ解体を福祉作業所と連携して実施するなど、各種の社会的課題に向き合うエシカル消費製品の好例である。

子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門



『uni タブレット授業えんぴつ』

三菱鉛筆株式会社

【東京都】

デジタル化が進む教育の現場だが、鉛筆を使って書くという行為は変わらない。本作品は、従来よりも光の反射を抑えることで視認性を高めた鉛筆芯の開発がポイントである。

現場のニーズを丹念に汲みあげた結果生まれた製品と感じられる良作である。

第19回キッズデザイン賞 優秀作品一覧

特別賞（審査委員長特別賞）

子どもたちを産み育てやすいデザイン部門



『子どもたちが健やかに成長できるシームレスハウジング Novel（ノヴェル）』

株式会社ユニバーサルホーム

【東京都】

リビング空間のデザインがシンプルで美しく、パブリックとプライベートを時間や気分で使い分けることができる点に好感が持てる。量産型住宅の空間づくりのなかで、交流を中心としたライフスタイルに特化した思い切りの良いデザインが評価できる。

子どもたちを産み育てやすいデザイン部門



『猫舌ふーふー』

ユカイ工学株式会社

【東京都】

カップや食器にセットすると小型ファンが風を送ってくれて食べ物を適温に冷ましてくれる、楽しく可愛い作品である。幼い頃に親がフーフーしてスープを冷ましてくれた記憶と思いやりを伝えてくれる。シリコンカバーの洗浄が可能で衛生面にも配慮がある。

子どもたちを産み育てやすいデザイン部門



『ベビーカー epa（エパ）』

ビジョン株式会社

【東京都】

意匠と機能の両面から「出かけたくなる」ベビーカーとして高く評価した。曲がり際の操作性、大径タイヤの安定性などユーザビリティを確保しながら、デザインをうまくまとめた。

乳児だけでなく押している大人の姿も考えてデザインされていることが特に秀逸である。

特別賞（東京都知事賞）

子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門



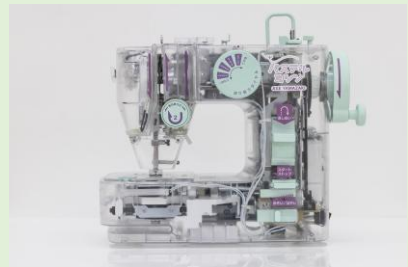
『プッシュラッチユニット（宅配ボックス用錠前） LL-0030』

株式会社栃木屋

【東京都】

宅配荷物の増加・大型化により宅配ボックスも大型化している。その分、子どもの閉じ込め事故防止への配慮は欠かせない。本作品はワンプッシュのアクションで中から解錠でき、視認性の高い黄色の大型ボタンは外から子どもに指示しやすい。物流問題が取り沙汰される時代にあって、子ども目線での安全性確保の点から本賞にふさわしいものである。

特別賞（TEPIA特別賞）



『パステルミシン（とうめいパステル）』

株式会社アックスヤマザキ

【大阪府】

小学5年生は家庭科の授業でミシンを扱う。これまでにない非常にユニークな提案であり、機械の仕組みがわかることで、自分で縫う面白さも増幅するだろう。日常的な機器の構造を知るための良質なキットであり、機械や技術をわかりやすく伝えている点で本賞にふさわしいものと考えている。

「第19回キッズデザイン賞」実施概要

- 【主催】

特定非営利活動法人キッズデザイン協議会
- 【後援】

経済産業省、内閣府、消費者庁、こども家庭庁
- 【概要】

キッズデザイン賞は、子どもや子どもの産み育てに配慮したすべての製品・サービス・空間・活動・研究を対象とする顕彰制度です。

キッズデザイン賞は、「子どもたちが安全に、そして安心して暮らす」「子どもたちが感性や創造性豊かに育つ」「子どもを産み育てやすい社会をつくる」という目的を満たす、製品・サービス・空間・活動・研究の中から、子どもや子育てに関わる社会課題解決に取り組む優れた作品を選び、広く社会に発信していくことを目的に創設されました。

子ども用にデザインされたものはもちろん、大人・一般向けに開発されたものでも、子どもや子育てに配慮されたデザインであればすべてが対象となります。

キッズデザイン賞を受賞した作品には「キッズデザインマーク」をつけることが認められ、販売促進活動や広報活動などで、その成果を広く社会にアピールすることができます。

※キッズデザイン賞での「子ども」の対象は、0～15歳までを指します。
- 【募集期間】

2025年3月3日(月) ～ 5月13日(火)13時
- 【応募方法】

キッズデザイン賞Webサイト<<https://kidsdesignaward.jp/>>より受付
- 【受賞数】

受賞数233点（応募数：411点）

応募者は、キッズデザインの3つのデザインミッションから設けられた以下より応募部門を選択。
- 【部門】

《子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン》・・・61点

子どもの安全・安心に寄与する製品、サービス、建築・空間、活動、研究など。子ども向け、あるいは一般向けの製品、サービス、建築・空間、活動、研究において、安心・安全に配慮されたもの。

《子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン》・・・97点

子どもの創造性や感性に寄与する製品、サービス、建築・空間、活動、研究など。子どもの創造性・感性の育成、多様な知識の習得や運動能力の向上に役立つもの。また、そこに新たな発想、工夫、手法があるもの。

《子どもたちを産み育てやすいデザイン》・・・75点

子どもや子育てに関わる人々に寄与する製品、サービス、建築・空間、活動、研究など。

妊娠・出産・子育てに関わる人が利用する製品、サービス、建築・空間、活動、研究において、安全かつ楽しく育児に取り組める工夫がなされたもの。保育園、学校、自治体、地域などで利用されるものも含む。また、子育て期の男女が、育児や仕事、地域との交流などに積極的に参加するための新たな発想、工夫、手法があるもの。

■ 賞の構成

子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン		子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン			子どもたちを産み育てやすいデザイン		
子ども部門	一般部門	クリエイティブ部門	リテラシー部門	消費者育成部門	個人・家庭部門	地域・社会部門	男女共同参画部門
内閣総理大臣賞							
経済産業大臣賞	経済産業大臣賞	経済産業大臣賞	経済産業大臣賞	消費者担当大臣賞	こども政策 担当大臣賞	こども政策 担当大臣賞	男女共同参画 担当大臣賞
キッズデザイン協議会会長賞		キッズデザイン協議会会長賞			キッズデザイン協議会会長賞		
審査委員長特別賞		審査委員長特別賞			審査委員長特別賞		
東京都知事賞							
TEPIA特別賞							
キッズデザイン賞（審査通過作品）							

■「第19回キッズデザイン賞」審査委員（所属・役職は2025年5月20日現在）

審査委員長	益田 文和	（デザインコンサルタント／オープンハウス 代表）
副審査委員長	赤池 学	（科学技術ジャーナリスト／ユニバーサルデザイン総合研究所 所長）
	持丸 正明	（産業技術総合研究所 フェロー）
	山中 龍宏	（小児科医／緑園こどもクリニック 院長）
審査委員	赤松 幹之	（産業技術総合研究所 人間情報インタラクション研究部門 首席研究員）
【50音順】	五十嵐 久枝	（インテリアデザイナー／イガラシデザインスタジオ 代表／武蔵野美術大学 教授）
	大月 ヒロ子	（ミュージアム・エデュケーション・プランナー／アイデア 代表）
	岡崎 章	（拓殖大学 工学研究科 情報・デザイン工学専攻主任）
	北野 幸子	（神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 人間発達専攻教授）
	定行 まり子	（日本女子大学 名誉教授）
	竹内 昌義	（建築家／東北芸術工科大学 教授／「みかんぐみ」共同代表／エネルギーまちづくり社 代表取締役／一般社団法人パッシブハウスジャパン 理事）
	竹村 真一	（文化人類学者／京都芸術大学 教授／Earth Literacy Program 代表）
	中村 俊介	（芸術工学博士／しくみデザイン 代表取締役）
	西田 佳史	（東京科学大学 工学院 機械系 教授）
	橋田 規子	（プロダクトデザイナー／芝浦工業大学 教授）
	宮城 俊作	（ランドスケープアーキテクト／設計組織 PLACEMEDIA パートナー）
	美谷島 克宏	（東京農業大学 応用生物科学部 食品安全健康学科 教授）
	森本 千絵	（コミュニケーションディレクター／アートディレクター）
	山中 敏正	（筑波大学 特命教授 名誉教授）
	渡 和由	（UR都市機構 東日本都市再生本部 事業企画部 参与）

審査委員紹介URL：<https://kidsdesignaward.jp/examination/member.html>

■キッズデザイン協議会とは

キッズデザイン協議会は、次世代を担う子どもたちの安全・安心の向上と、健やかな成長発達につながる社会環境の創出のために、さまざまな企業・団体が業種を超えて集い合うNPO法人です。キッズデザインの理念を広く普及・啓発し、子ども目線での製品・コンテンツ開発が拡大していくことを目的としています。
会員数99：企業52 自治体27 その他、団体など20（2025年9月17日現在）

【報道関係者からのお問合せ先】

「第19回キッズデザイン賞」広報事務局（カーツメディアワークス内）

山内（070-1288-6435）・小石（070-1288-6420）

Tel：03-6427-1627 Fax：03-6730-9713 Mail：contact@kartz.co.jp

【企業様からのお問合せ先】

「第19回キッズデザイン賞」事務局 Tel：03-5405-2142（平日10:00-17:00）Mail：2025kids@kidsdesign.jp

主催：特定非営利活動法人キッズデザイン協議会 Tel：03-5405-2141 Fax：03-5405-2143

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-4-10 虎ノ門35森ビル7階 <https://kidsdesignaward.jp/>